

藤川幸之助氏講演会

『命が命を生かす瞬間』

～認知症の母が教えてくれたこと～

11月13日（水）参加無料

扉

認知症の母を
老人ホームに入れた。

藤川幸之助

認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。

私が帰ろうとすると
何も分かるはずもない母が
私の手をぎゅゅとつかんだ。

そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

*

私がホームから帰ってしまおうと
私が出ていった重い扉の前に
母はびったりとくっついて
ずっとその扉を見つめて
いるんだと聞いた。

それでも

母を老人ホームに入れたまま

私は帰る。

母にとっては重い重い扉を

私はひよいと開けて

また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規）

時間
18:30～
20:30

場所
駒澤大学
大講義室

どなたで
も参加
出来ます

★プロフィール★

■詩人・児童文学作家。日本児童文学者協会会員。

■1962年生。長崎大学教育学部大学院修士課程修了。

■認知症の母親に寄り添いながら、命や認知症を題材に作品を作り続ける。著作に、最新刊『徘徊と笑うなかれ』（中央法規）、ポストカード詩集『命が命を生かす瞬間』（東本願寺出版）、詩文集『まなざしかいご 認知症の母と言葉をこえて向かいあうとき』（中央法規）、写真詩集『この手の空っぽは きみのために 空けてある』PHP出版、『手をつないで見上げた空は』（ポプラ社）、『満月の夜、母を施設に置いて』対談・谷川俊太郎 絵・松尾たいこ（中央法規）、『やわらかな まっすぐ』（PHP出版）、『君を失って、言葉が生まれた』（ポプラ社）、絵本『大好きだよ キヨちゃん。』（クリエイツかもがわ）、『ライスカレーと母と海』『マザー』（ポプラ社）、CD版『マザー』（ポプラ社）『こころインデックス』（教育出版センター）等。共著に『人間といういのちの相（すがた）』4』（東本願寺出版）天童 荒太他、『私、バリバリの認知症です』（クリエイツかもがわ）、『長崎の童話』『熊本の童話』（共にリブリオ出版）等多数。

■全国各地で、認知症への理解を深めるため講演活動を行っている。また、「子ども達にどのように認知症を伝えるか」

「命に寄り添う」というテーマで研究を進め、大阪大学大学院や長崎大学、活水大学などの大学でも講義や講演を行っている。

■長崎市立晴海台小学校校歌歌詞作曲。

■著書をもとにNBC長崎放送が制作したラジオ番組「マザー・詩人藤川幸之助が綴った母との瞬間」が平成16年度民間放送連盟賞最優秀賞受賞、文化庁芸術祭参加作品となる。

■NHK「社会福祉セミナー」に「いのちをうたう」2013年4月より連載中。

ウェブページ <http://www.k-fujikawa.net/>

ブログサイト <http://www.k-fujikawa.net/wordpress/>



写真提供：北海道新聞社

主催：北海道認知症グループホーム協会 日胆ブロック
お問合わせ：0144-83-4240（担当：荒川）